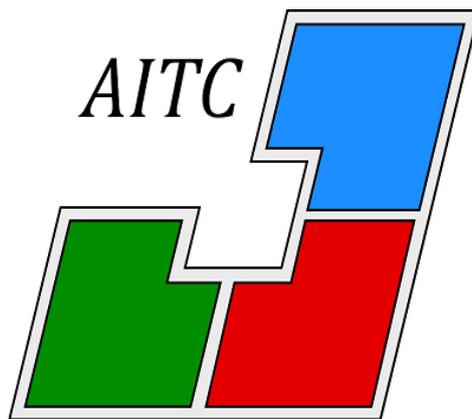


平成27事業年度

## 財務状況の概要



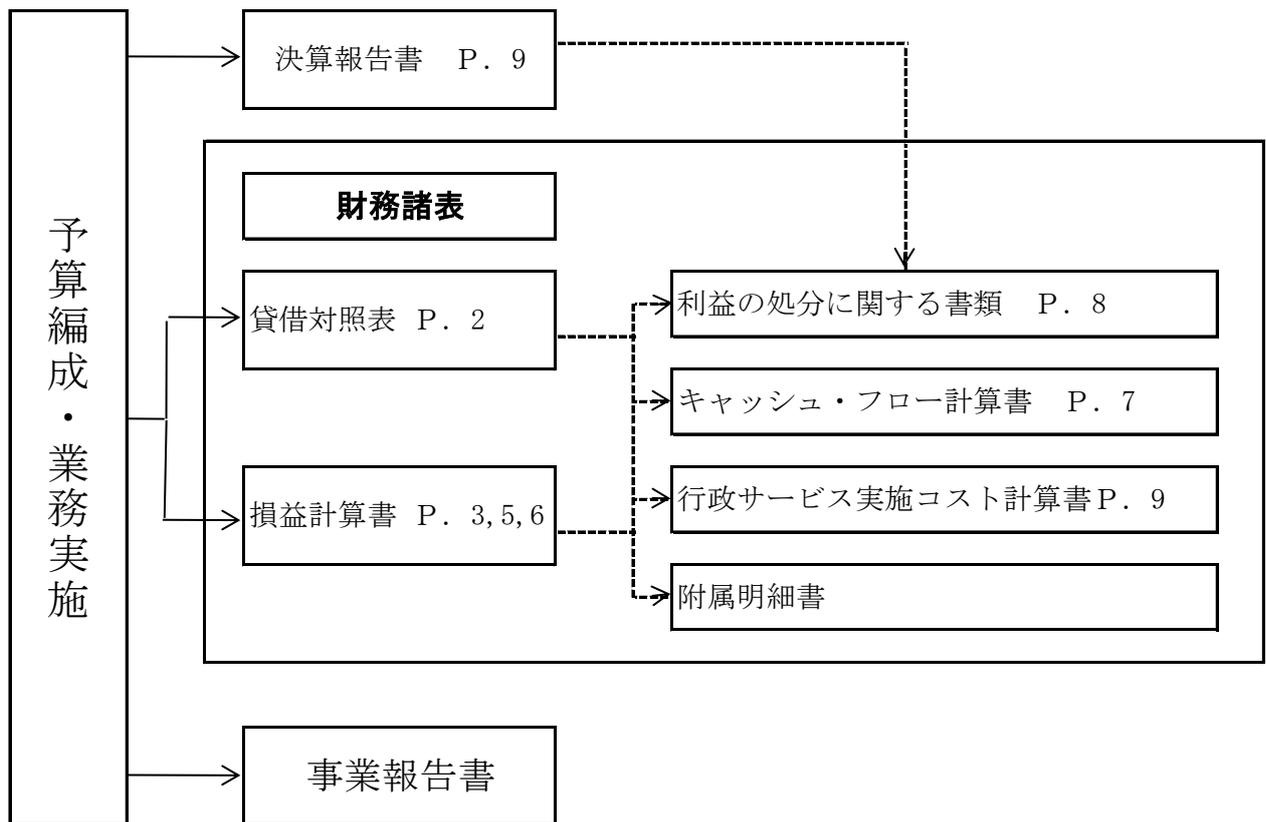
**あおもりの未来、技術でサポート**

自 平成27年4月 1 日

至 平成28年3月31日

地方独立行政法人 青森県産業技術センター

## 産業技術センターの業務と財務諸表



財務諸表	作成目的
貸借対照表	産業技術センターの財政状況を明らかにするために資産、負債、純資産の科目を一表に集約した財務諸表。業務運営に利用される資金の調達源泉とその資金が運用されている状態を知ることができます。
損益計算書	産業技術センターの運営状況を明らかにするために費用と収益を記載して当期純利益及び当期総利益を計算した財務諸表。業務の実施に費やした費用と得られた収益の状況を知ることができます。
利益の処分に関する書類	損益計算書により算定された当期総利益に前期繰越欠損金を差引きした当期未処分利益の処分内容を明らかにするために作成する財務諸表。剰余金を次年度繰越するために県知事の承認が必要な書類です。
キャッシュ・フロー計算書	資金の流れを業務活動、投資活動、財務活動の活動区分別に表示する財務諸表。各活動により獲得した、または支出した資金の内訳及び資金収支の状況を知ることができます。
行政サービス実施コスト計算書	業務運営に関して国民が負担するコスト情報を開示する財務諸表。産業技術センターの運営に県民の税金がどの程度使用されているかを知ることができます。

## 平成27年度財務状況の概要

### 【貸借対照表】

(単位：千円)

【資産の部】	12,949,220	【負債の部】	5,192,688
土地建物等の不動産	7,019,758	資産見返負債	1,792,890
機械装置等の物品	855,716	借入金	2,800,000
家畜及び家畜仮勘定	170,678	資産除去債務	35,866
その他の有形固定資産	1,157,185	固定負債計	4,628,756
無形固定資産	27,869	運営費交付金債務	157,784
投資有価証券及び長期性預金	2,782,006	未払金・未払費用等	388,997
その他の投資資産	20,346	その他	17,151
固定資産計	12,033,558	流動負債計	563,932
現金預金	564,475	【純資産の部】	7,756,532
未収入金	99,018	資本金	7,964,740
たな卸資産	251,004	資本剰余金	△413,718
その他の流動資産	1,165	利益剰余金	205,510
流動資産計	915,662	純資産計	7,756,532
資産合計	12,949,220	負債・純資産合計	12,949,220

### 【貸借対照表】

#### (固定資産)

固定資産は、総額約120億3千万円です。

主な内訳は、土地建物等の不動産が約70億2千万円、機械装置等約8億6千万円、その他の有形固定資産約11億6千万円、投資有価証券及び長期性預金約27億8千万円などとなっています。

投資有価証券及び長期性預金は、農商工連携ファンド造成に係る国債及び預金によるものです。

無形固定資産約2千8百万円は、知的財産権（出願中のものを含む）によるものです。

当期は漁業試験船開運丸、陸奥湾海況自動観測システム、弘前地域研究所移転に関連した機器類、各研究所において研究活動に必要な機器類を固定資産として取得しました。

#### (流動資産)

総額約9億2千万円のうち、主なものは現金預金、未収入金及びたな卸資産です。

現金預金が約5億6千万円ありますが、その多くは4月以降に支払う未払金や未払費用に充てられます。また、たな卸資産は凍結精液が大半を占めています。

#### (負債)

総額約51億9千万円のうち、約17億9千万円は資産見返負債で、これは資産の減価償却に応じて取崩を行うことで費用に見合う収益を計上するための会計処理上の便宜的なものであります。借入金28億円は、固定資産に記載の投資有価証券及び長期性預金並びにその他の投資資産（定期預金）として運用しています。未払金及び未払費用等は、短期的に返済義務を負う債務で、流動資産の現金預金及び未収入金の入金により28年度に支払がなされるものです。

#### (純資産)

資本金79億6千万円は、県からの出資財産見合額です。資本剰余金は、県から現物出資された建物等の減価償却費などから構成され、資本の目減り額として約4億1千万円をマイナス計上しています。利益剰余金は平成27年度までに計上した利益の額を表しており、約2億6百万円を計上しています。

## 平成 27 年度財務状況の概要

### 【損益計算書】

(単位：千円)

<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 100%;"><b>〔経常費用〕</b></td> <td style="text-align: right;"><b>4,841,567</b></td> </tr> <tr> <td>業務費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>  工業研究業務費</td> <td style="text-align: right;">863,158</td> </tr> <tr> <td>  農林研究業務費</td> <td style="text-align: right;">1,943,652</td> </tr> <tr> <td>  水産研究業務費</td> <td style="text-align: right;">777,911</td> </tr> <tr> <td>  食品研究業務費</td> <td style="text-align: right;">350,654</td> </tr> <tr> <td>  農商工連携支援基金費</td> <td style="text-align: right;">29,605</td> </tr> <tr> <td>  受託研究、受託事業費</td> <td style="text-align: right;">198,498</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">業務費計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">4,163,478</td> </tr> <tr> <td>一般管理費</td> <td style="text-align: right;">678,089</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;"><b>経常利益</b></td> <td style="text-align: right;"><b>10,695</b></td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;"><b>臨時損失</b></td> <td style="text-align: right;"><b>4,473</b></td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;"><b>当期総利益</b></td> <td style="text-align: right;"><b>12,134</b></td> </tr> </table>	<b>〔経常費用〕</b>	<b>4,841,567</b>	業務費		工業研究業務費	863,158	農林研究業務費	1,943,652	水産研究業務費	777,911	食品研究業務費	350,654	農商工連携支援基金費	29,605	受託研究、受託事業費	198,498	業務費計	4,163,478	一般管理費	678,089	<b>経常利益</b>	<b>10,695</b>	<b>臨時損失</b>	<b>4,473</b>	<b>当期総利益</b>	<b>12,134</b>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 100%;"><b>〔経常収益〕</b></td> <td style="text-align: right;"><b>4,852,262</b></td> </tr> <tr> <td>運営費交付金収益</td> <td style="text-align: right;">3,846,699</td> </tr> <tr> <td>試験等手数料等収益</td> <td style="text-align: right;">14,026</td> </tr> <tr> <td>農水産物販売収益</td> <td style="text-align: right;">184,701</td> </tr> <tr> <td>工業所有権使用料収益</td> <td style="text-align: right;">3,044</td> </tr> <tr> <td>受託研究、受託事業収益</td> <td style="text-align: right;">208,596</td> </tr> <tr> <td>補助金等収益</td> <td style="text-align: right;">96,587</td> </tr> <tr> <td>施設費収益</td> <td style="text-align: right;">15,205</td> </tr> <tr> <td>資産見返負債戻入</td> <td style="text-align: right;">437,012</td> </tr> <tr> <td>財務収益等</td> <td style="text-align: right;">46,392</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;"><b>臨時利益</b></td> <td style="text-align: right;"><b>5,583</b></td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;"><b>目的積立金取崩額</b></td> <td style="text-align: right;"><b>329</b></td> </tr> </table>	<b>〔経常収益〕</b>	<b>4,852,262</b>	運営費交付金収益	3,846,699	試験等手数料等収益	14,026	農水産物販売収益	184,701	工業所有権使用料収益	3,044	受託研究、受託事業収益	208,596	補助金等収益	96,587	施設費収益	15,205	資産見返負債戻入	437,012	財務収益等	46,392	<b>臨時利益</b>	<b>5,583</b>	<b>目的積立金取崩額</b>	<b>329</b>
<b>〔経常費用〕</b>	<b>4,841,567</b>																																																		
業務費																																																			
工業研究業務費	863,158																																																		
農林研究業務費	1,943,652																																																		
水産研究業務費	777,911																																																		
食品研究業務費	350,654																																																		
農商工連携支援基金費	29,605																																																		
受託研究、受託事業費	198,498																																																		
業務費計	4,163,478																																																		
一般管理費	678,089																																																		
<b>経常利益</b>	<b>10,695</b>																																																		
<b>臨時損失</b>	<b>4,473</b>																																																		
<b>当期総利益</b>	<b>12,134</b>																																																		
<b>〔経常収益〕</b>	<b>4,852,262</b>																																																		
運営費交付金収益	3,846,699																																																		
試験等手数料等収益	14,026																																																		
農水産物販売収益	184,701																																																		
工業所有権使用料収益	3,044																																																		
受託研究、受託事業収益	208,596																																																		
補助金等収益	96,587																																																		
施設費収益	15,205																																																		
資産見返負債戻入	437,012																																																		
財務収益等	46,392																																																		
<b>臨時利益</b>	<b>5,583</b>																																																		
<b>目的積立金取崩額</b>	<b>329</b>																																																		

### 【損益計算書】

#### (経常費用)

業務費と一般管理費を合わせた約48億4千万円を計上しています。

業務費は、各研究所における研究活動に係る経費を表しており、当期は約41億6千万円を計上しています。物件費のほか、人件費もそれぞれの研究業務費に含まれています。なお、物件費のうち1件50万円以上の物品購入等に要した経費は、固定資産として貸借対照表に計上しています。また、減価償却費は費用として業務費に計上しています。

一般管理費は、本部における物件費及び人件費のほか、各研究所における研究以外の事務部門の物件費及び人件費を含んでいます。当期は約6億8千万円を計上しています。

#### (経常収益)

運営費交付金収益をはじめ、農産物販売収益などの自己収入に係るもののほか、受託研究、受託事業、補助金等収益、施設費収益など合わせて約48億5千万円を計上しています。

#### (臨時利益・臨時損失)

臨時損失には、固定資産の除却額を計上しており、臨時利益には固定資産売却益などを計上しています。

#### (当期総利益)

経常収益から経常費用を差引いた経常利益約1千万円に、臨時損失、臨時利益等を加味した当期総利益として約1千2百万円を計上しています。

## 財務分析

財務諸表の数値から産業技術センターの債務支払能力や業務運営の効率性、発展性や研究経費や一般管理費の水準等を把握し、財務内容の改善や今後の運営に役立てるため、財務分析を行いました。

視点	指標	平成26 事業年度	平成27 事業年度	分析結果	理由
健全性	流動比率	178.43 %	162.37 %	問題なし	たな卸資産の減少により割合が下がったものですが、基本的に100%を超えていれば、健全性について、問題はありません。
	自己資本比率	53.40 %	59.90 %	問題なし	凍結精液売却による利益計上額の増に加え、県の補助金で建造した試験船及びブイロボの竣工に伴い資本剰余金が増加し、数値が上がったものです。
効率性	人件費比率	52.93 %	51.92 %	問題なし	業務費が増えているにもかかわらず職員数が増えていない結果、数値が下がったものです。
	一般管理費比率	15.44 %	14.01 %	問題なし	ここ3年ほどで一番低く、業務費が増えた結果でもありますが、効率性が改善したものです。
収益性	自己収益比率	9.87 %	9.41 %	問題なし	交付金や補助金による経常収益の大幅な増により割合が下がったものであり、自己収益自体は増加しております。
	交付金収益比率	79.88 %	79.28 %	問題なし	おおむね8割を下回る水準で例年推移しており、大幅な増減のない例年並みの数値といえます。
発展性	外部資金比率	4.53 %	4.30 %	問題なし	交付金や補助金による経常収益の大幅な増により割合が下がったものであり、受託収益自体は増加しております。
活動性	業務費比率	84.55 %	85.99 %	問題なし	業務費が増えた結果、活動性が高まったものです。

### 算定方法

① 流動比率	流動資産計 ÷ 流動負債計
② 自己資本比率	純資産計 ÷ 負債・純資産計
③ 人件費比率	(業務費のうち人件費 + 家畜育成業務費のうち人件費) ÷ 経常費用
④ 一般管理費比率	一般管理費 ÷ 経常費用計
⑤ 自己収益比率	経常収益の自己収入 (手数料・農水産物販売・工業所有権・受託・財務収益・その他(雑益)の計) ÷ 経常収益計
⑥ 交付金収益比率	交付金収益 ÷ 経常収益計
⑦ 外部資金比率	受託収益 ÷ 経常収益計
⑧ 業務費比率	業務費計 ÷ 経常費用計

### 分析結果を受けた今後の方針等

引き続き外部資金の獲得に努め、外部資金比率を向上することで、発展性や収益性といった他の項目の数値の改善につなげていきます。

また、効率性の面からも人件費比率の減や、一般管理費比率の減に一層努めていきます。

## 損益計算書の概要

(単位：百万円)

項 目	平成26事業年度	平成27事業年度	対 前年度 増減額(%)
<b>経常費用</b>	4,468	4,842	374 ( 108.4 )
<b>業務費</b>	3,778	4,164	386 ( 110.2 )
工業研究業務費	617	863	246 ( 139.9 )
農林研究業務費	1,895	1,944	49 ( 102.6 )
水産研究業務費	754	778	24 ( 103.2 )
食品研究業務費	299	351	52 ( 117.4 )
受託研究等経費	188	198	10 ( 105.3 )
農商工連携ファンド助成経費 (うち人件費)	25 1,965	30 2,134	5 ( 120.0 ) 169 ( 108.6 )
一般管理費	690	678	△ 12 ( 98.3 )
財務費用	0	0	0 ( 0.0 )
雑損	0	0	0 ( 0.0 )
<b>臨時損失</b>	5	4	△ 1 ( 80.0 )

### 【特筆すべき点】

各部門における業務費はいずれも前年比増となっており、特に工業部門では弘前研移転関連事業費の増に伴い前年比39.9%の増となっています。

(単位：百万円)

項目	平成26事業年度	平成27事業年度	対前年度 増減額(%)
<b>経常収益</b>	4,505	4,852	347 ( 107.7 )
運営費交付金収益	3,599	3,847	248 ( 106.9 )
受託研究等収益	204	209	5 ( 102.5 )
寄附金収益	2	1	△ 1 ( 50.0 )
補助金収益	70	96	26 ( 137.1 )
施設費収益	0	15	15 ( 皆増 )
農産物等売払収益	174	184	10 ( 105.7 )
使用料及び手数料収益	14	17	3 ( 121.4 )
財務収益	36	36	0 ( 100.0 )
雑益	16	10	△ 6 ( 62.5 )
資産見返負債戻入	390	437	47 ( 112.1 )
臨時利益	5	6	1 ( 120.0 )

【特筆すべき点】

収益も費用同様前年比増となっている中で、補助金収益が前年比137.1%と大きく増加しています。

農産物等売払収益の増は、生乳及び観賞用稲種子の売却収益が増となったこと等によるものです。

## キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)

項 目	平成26事業年度	平成27事業年度	対 資金計画 増減額(%)
資金支出	5,526	6,471	945 ( 117.1 )
業務活動による支出	4,202	4,390	188 ( 104.5 )
投資活動による支出	740	1,535	795 ( 207.4 )
財務活動による支出	0	0	0 ( — )
次期への繰越金	584	546	△ 38 ( 93.5 )
資金収入	5,525	6,469	944 ( 117.1 )
業務活動による収入	4,526	4,967	441 ( 109.7 )
運営費交付金による収入	3,995	4,419	424 ( 110.6 )
売払収入	171	190	19 ( 111.1 )
使用料及び手数料収入	14	16	2 ( 114.3 )
雑収入・利息収入	54	48	△ 6 ( 88.9 )
受託研究等収入	213	201	△ 12 ( 94.4 )
補助金等収入	79	93	14 ( 117.7 )
投資活動による収入	667	918	251 ( 137.6 )
財務活動による収入	-	-	0 ( — )
前期からの繰越金	332	584	252 ( 175.9 )

### 【特筆すべき点】

業務活動面では、運営費交付金収入や補助金収入の増に伴い支出額も増となりました。

投資活動面では、収入の増は施設費収入の増によるものです。支出の大半は開運丸代船建造や陸奥湾海況自動観測システムの更新などの固定資産取得によるものです。

財務活動面では、資金の借入・返済がなかったため、収入・支出ともに計上はありませんでした。

## 利益の処分に関する書類(案)の概要

(単位：百万円)

項 目		平成26事業年度	平成27事業年度
A	当期未処分利益		
	当期総利益	38	12
A の 内 訳	利益処分数額		
	運営費交付金の未使用額	0	0
	積立金	6	0
	目的積立金	32	12
B	積立金振替額	0	0
C	合計 (A+B)	38	12

### 【特筆すべき点】

当期総利益のうち、資金の裏付けのある12百万円の剰余金について、目的積立金として県に申請を行います。

なお、前年度と比較すると、当期未処分利益が減となっておりますが、凍結精液の廃棄量が増となったことや自己収入で取得した資産の減価償却など、実際の支出を伴わない費用計上の額が多かったことによるものです。

## 行政サービス実施コスト計算書の概要

(単位：百万円)

項目	平成26事業年度	平成27事業年度	備考
業務費用	4,025	4,386	361 ( 109.0 )
損益外減価償却相当額等	211	276	65 ( 130.8 )
引当外賞与増加見積額	△ 1	4	5 ( 0.0 )
引当外退職給付増加見積額	12	△ 168	△ 180 ( △ 1,400.0 )
機会費用	73	134	61 ( 183.6 )
設立団体納付額	△ 68	0	68 ( 0.0 )
行政サービス実施コスト	4,252	4,632	380 ( 108.9 )

### 【特筆すべき点】

業務費用は約3億6千1百万円増加しております。

損益外減価償却相当額等は、損益計算に含めない県からの出資財産に係る減価償却費及び資産除去債務に係る当期の利息費用を計上したものです。

引当外賞与増加見積額及び引当外退職給付増加見積額は、派遣職員を含め引当処理を行った場合の費用との差額を計上したものです。当期は、退職給付費用が増となったことに伴い、引当外退職給付増加見積額がマイナスとなっております。

機会費用は、県などの公的機関から無償で借用している資産の使用料相当額、出資金等に係る利息相当額及び農商工連携ファンドの造成に係る無利子借入金の利息相当額の合計です。当期は、弘前研新庁舎及び敷地を県から無償借受したことに伴い機会費用が増加しております。

## 決算報告書の概要

(単位：百万円)

項目	平成27事業年度 予算	平成27事業年度 実績	対予算 増減額(%)
収入			
運営費交付金	4,318	4,511	193 ( 104.5 )
施設費	451	894	443 ( 198.2 )
自己収入	248	275	27 ( 110.9 )
売払収入	193	185	△ 8 ( 95.9 )
使用料及び手数料収入	10	17	7 ( 170.0 )
助成金	2	4	2 ( 200.0 )
農商工連携ファンド運用益収入	39	39	0 ( 100.0 )
雑収入	4	30	26 ( 750.0 )
受託研究等収入	189	207	18 ( 109.5 )
補助金	61	135	74 ( 221.3 )
寄附金	0	0	0 ( - )
目的積立金取崩額	30	47	17 ( 156.7 )
計	5,297	6,069	772 ( 114.6 )
支出			
業務費	3,651	3,976	325 ( 108.9 )
試験研究経費	1,311	1,432	121 ( 109.2 )
農商工連携ファンド補助金経費	39	30	△ 9 ( 76.9 )
人件費	2,301	2,514	213 ( 109.3 )
一般管理費	945	667	△ 278 ( 70.6 )
(内人件費)	( 489 )	( 485 )	△ 4 ( 99.2 )
受託研究等経費	189	211	22 ( 111.6 )
施設費	451	894	443 ( 198.2 )
補助金	61	135	74 ( 221.3 )
寄附金	0	0	0 ( - )
計	5,297	5,883	586 ( 111.1 )
収入－支出	0	186	

### 【特筆すべき点】

年度計画において収入及び支出の予算額は52億9千7百万円としていましたが、決算では収入額60億6千9百万円、支出額58億8千3百万円で差引き1億8千6百万円の収入超過となっております。当期はおおむね計画通り執行されています。